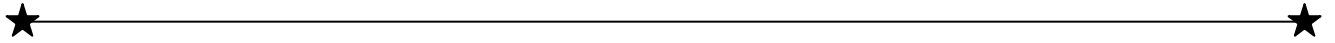


[東京大学 2010 年前期 文科 1]



O を原点とする座標平面上に点 A(-3, 0) をとり, $0^\circ < \theta < 120^\circ$ の範囲にある θ に対して, 次の条件(i), (ii)をみたす点 B, C を考える。

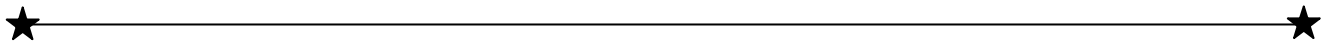
(i) B は $y > 0$ の部分にあり, $OB = 2$ かつ $\angle AOB = 180^\circ - \theta$ である。

(ii) C は $y < 0$ の部分にあり, $OC = 1$ かつ $\angle BOC = 120^\circ$ である。ただし $\triangle ABC$ は O を含むものとする。

以下の問(1), (2)に答えよ。

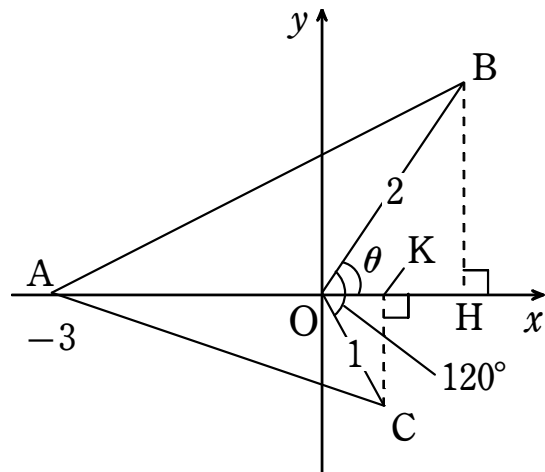
(1) $\triangle OAB$ と $\triangle OAC$ の面積が等しいとき, θ の値を求めよ。

(2) θ を $0^\circ < \theta < 120^\circ$ の範囲で動かすとき, $\triangle OAB$ と $\triangle OAC$ の面積の和の最大値と, そのときの $\sin \theta$ の値を求めよ。



$$\begin{aligned} (1) \text{ 図より } \triangle OAB &= \frac{1}{2} \cdot OA \cdot BH \\ &= \frac{1}{2} \cdot 3 \cdot 2 \sin \theta \\ &= 3 \sin \theta \quad \dots \text{①} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \triangle OAC &= \frac{1}{2} OA \cdot CK \\ &= \frac{1}{2} \cdot 3 \cdot \sin(120^\circ - \theta) \\ &= \frac{3}{4} (\sqrt{3} \cos \theta + \sin \theta) \quad \dots \text{②} \end{aligned}$$

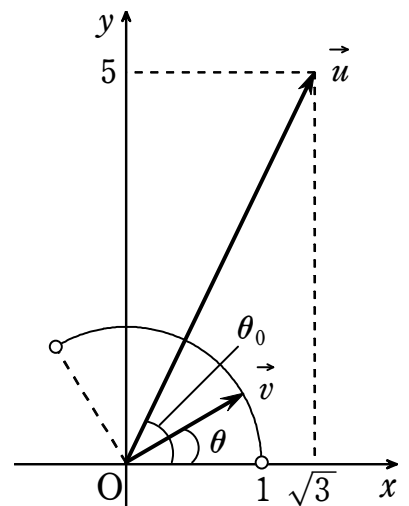


$$\text{①} = \text{②} \text{ より } 2 \sin \theta = \sqrt{3} \cos \theta \text{ から } \tan \theta = \frac{1}{\sqrt{3}} \text{ よって } \theta = 30^\circ$$

$$(2) \text{ ①} + \text{②} = \frac{3}{4} (\sqrt{3} \cos \theta + 5 \sin \theta) \quad \dots \text{③}$$

$$\vec{u} = \begin{pmatrix} \sqrt{3} \\ 5 \end{pmatrix}, \vec{v} = \begin{pmatrix} \cos \theta \\ \sin \theta \end{pmatrix} \text{ とおくと } \sqrt{3} \cos \theta + 5 \sin \theta = \vec{u} \cdot \vec{v} \text{ であり,}$$

\vec{u} と \vec{v} が同じ向きするとき最大値 $|\vec{u}| |\vec{v}| = 2\sqrt{7}$ をとる。



よって ③の最大値は $\frac{3}{4} \cdot 2\sqrt{7} = \frac{3}{2}\sqrt{7}$ であり,

このとき θ は図の θ_0 で, $\sin \theta = \frac{5}{2\sqrt{7}}$ となる。